

トレジャーハンティング in Brimfield (MA)

幹事 木村 一彦

オールドノリタケに興味を持っている人は、大なり小なり美術・骨董品に興味を持っていることだろう。ましてや、コレクターともなれば多くのオールドノリタケが海外でどのような環境の中で販売されているのか非常に関心のあるところではないだろうか？

皆さんも「掘り出し物」(トレジャー=お宝)という言葉聞いたことがあると思う。これは、相場よりかなり安く購入することを意味するのだが、誰しも収集家であれば良いモノを格安で購入できれば悪い気はしないだろう。美術品・骨董品の価格については、真贋が問われ定価が定まっていなため、よく「値段があってないもの」といわれることが多く、少し悪いイメージでとられがちだが、実際にはそうではなくすべての美術品・骨董品には相場というものがあつて、ある程度の価格帯の中で常に取引されている。ただこの業界特有の以下のような例外があることがこのようにいわれる所以である。

例えばほとんどマーケットに出ないレアモノ(非常に珍しいモノ)を所有している人物がいて、たまたま同時期にこのレアモノをどうしても手に入れたい2人の富豪のコレクターがいた場合。そしてこの品がオークションにかかったとすれば・・・結果は想像できると思うが、通常取引相場よりかなり高額で取引されることになる。

逆に、トレジャーハンティングは先述の「掘り出し物」の例えのとおり、努力と幸運によっては通常取引相場よりかなり低価格で購入することができる例である。さて、ここからが本レポートの主旨であるが、これは売り手の認識不足?から生じる大幅な価格差である。例えば、自宅の倉庫に眠っていた、祖父母、それ以前からある品があるとしよう、整理のためにフリーマーケットに出品する。使用することもなく全く興味のない薄汚れた品に対して果たしていくらの価格をつけて販売するのか?これまた想像できると思うが、恐らく相場を下回った価格で販売されることになるだろう。プロであるアンティークディーラーと同様で、紀元前の考古学的な美術品から近代のコレクタブルなテントイ(ブリキのおもちゃ)まであらゆるジャンルのアンティークの真贋と相場を確実に把握できている業者はいないといって過言ではない。ここに隙間が生じ、思わぬ「掘り出し物」に出会うチャンスがある。

明治期以降多くのオールドノリタケは、日本国内ではなく北米を中心とした海外に輸出された。日々日本で暮らしている我々にとって、オールドノリタケの存在は日常周辺で見られることは非常に少ない。そこで輸出向けオールドノリタケを手に入れるには、どうしても北米を中

心とした海外に赴かなくてはならない。効率よくオールドノリタケに出会うにはそれなりのノウハウが必要であり、例えばアンティークショウやフェア、アンティークショップやモールに行きオールドノリタケを探すことが挙げられる。

皆様の中でトレジャーハンティング(「掘り出し物探し」)に興味があり、もし、プロ級ハンターを目指す方がおられるならその心得・極意を以下に記したので参考にさせていただきたい。

まさしくトレジャーハンティング(「掘り出し物探し」というぐらいなので、出来れば先述の例えのとおり、売り手の隙間を縫って相場の1/10位で購入したいものである。すなわち、購入価格の10倍以上で販売できるアイテムを探すことである。

単に10倍といっても、夢は大きくまた、プロともなれば出来ることなら最低10万円以上の掘り出し物(すなわち100万円以上で取引できるもの)を目指したいところだが・・・インターネットによる情報の共有など、さすがに近年は隙間がほとんどなくなってきており、一部の中国美術以外はまさしく夢物語になってしまった。

現実論で言うと1万円以上の掘り出し物(すなわち10万円以上で取引できるもの)でもあれば超ラッキーといったところである。目標をこの辺に置き、とりあえずは千円以上の掘り出し物(すなわち1万円以上で取引できるもの)から目指して行きたいところである。

次に持論であるが今までのトレジャーハンターの経験から学んだ極意(三か条)を紹介する。

1に体力・・・1日中早朝より夕方まで約10時間以上は歩き続ける体力は必要である。しかも、OPEN直後の会場ではバーゲンセールさながら「我先に!」の状態でごった返し、早足で回らなければならない。

2に精神力・・・実はこれが一番重要で・・・1日探し歩いて出会わないことも当然あり、時には心が折れそうになることがある。ましてや、絶えず獲物を追い求めるハンターの目を持って、10時間は集中力も欠如しがちであるが・・・「次こそ見つかる!」という強い信念を常に持って挑み続ける集中力と精神力が不可欠である。私心がかけていることは、常に前向きにポジティブな精神状態を保つことで「時には見つけたときの喜びを想像しながら」「そうそう簡単に見つかったはお宝の意味がない」と自問しながら歩き続けるようにしている。逆を言えばこのように考えないと馬鹿らしくてやっていられないとも言えるが・・・。

3に運・・・こればかりは、自身の努力でどうなるものでは